

令和5年度の産業文化局の取り組み方針

産業文化局長：長谷川 賢司

産業文化局の役割

産業文化局は、産業振興のほか、勤労者の支援、消費者行政、文化・スポーツの振興、生涯学習の振興などの役割を担っています。

勤労者福祉施設、ホールなど文化施設、体育館など運動施設、公民館・図書館など生涯学習関連施設等の管理運営並びに市民や事業者向けの様々な普及・啓発、支援業務を行っています。

令和5年度の重点目標

産業文化局では、令和5年度、市内産業・商業の振興のため、第4次西宮市産業振興計画を策定いたします。

前年に引き続き、西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等の再整備、および、「学びと活動の好循環」を実現する仕組みを備えた拠点施設とした（仮称）越木岩センターの整備を進めるとともに、阪神西宮駅北側移転する新中央図書館については、駅前立地を生かした「知と交流の拠点」を目指し検討をまいります。

市民の皆様へのメッセージ

市役所に入庁以来、職員の福利厚生、高齢者福祉、斎園管理、市場施設の業務に携わってきました。

産業と文化は異なるものですが、どちらも生活する上で必要なものであり、人々の生活を心豊かにするものであると思っています。業務は多岐にわたっておりますが、市民生活の向上に取り組んでまいります。

